

別紙1 標準メッセージヘッダ/トレーラフォーマット  
(1) 標準メッセージヘッダ

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
8	BeginString	String	◎	使用するFIXプロトコルのVersionを設定する。必ず先頭に位置する。「FIX.4.2」固定。	
9	BodyLength	Length	◎	MsgTypeからChecksumの直前(<SOH>)までのメッセージ長を設定する。必ずBeginStringの次に位置する。	
35	MsgType	String	◎	メッセージ毎のタイプを設定する。必ずBodyLengthの次に位置す	設定値については、各電文のページを参照。
49	SenderCompID	String	◎	自企業IDを設定する。 上り電文(CONNEQTOR→参加者システム): CONNEQTORの固定値「TSECQT」を設定する。 下り電文(参加者システム→CONNEQTOR): 任意の値を設定する。	
56	TargetCompID	String	◎	接続する相手企業IDを設定する。 上り電文(CONNEQTOR→参加者システム): 「参加者コード」を設定する。 下り電文(参加者システム→CONNEQTOR): CONNEQTORの固定値「TSECQT」を設定する。	
34	MsgSeqNum	Seqnum	◎	シーケンス番号を設定する。「1」～「999999999」	
115	OnBehalfOfCompID	String	□	上り電文: CONNEQTORが指定する組織IDを設定する。 下り電文: 省略	国内金融機関の場合は金融機関コードとし、それ以外の場合は別途採番する。
116	OnBehalfOfSubID	String	□	上り電文: CONNEQTORの各ユーザーに口座IDを設定する。 下り電文: 省略	各金融機関が複数の口座番号を利用している場合があることから、口座番号ごとに異なるIDを設定する。
128	DeliverToCompID	String	□	上り電文: 省略 下り電文: CONNEQTORの組織IDを設定する。	国内金融機関の場合は金融機関コードとし、それ以外の場合は別途採番する。
129	DeliverToSubID	String	□	上り電文: 省略 下り電文: CONNEQTORの各ユーザーに口座IDを設定する。	各金融機関が複数の口座番号を利用している場合があることから、口座番号ごとに異なるIDを設定する。
43	PossDupFlag	Boolean	□	再送メッセージを識別する識別子を設定する。 「Y」: Possible duplicate、 「N」: Original transmission	下り電文において、当タグの設定値が「Y」の場合、CONNEQTORでは、当該電文が処理済であれば破棄、未処理であれば処理を行なう。
97	PossResend	Boolean	□	アプリレベルで再送するメッセージの識別子を設定する。 「Y」: Possible Resend Message 「N」: Original transmission	上り電文の場合は省略、下り電文においては「Y」または「N」を設定する。下り電文で当タグの設定値が「Y」の場合、CONNEQTORでは、当該電文が処理済であれば破棄、未処理であれば処理を行なう。
52	SendingTime	UTC Time stamp	◎	メッセージ送信時間を設定する。GMT表示。	
122	OrigSendingTime	UTC Time stamp	□	再送メッセージ(PossDupFlag=Y)に設定する。GMT表示。	
347	MessageEncoding	String	□	「Shift_JIS」固定。	CONNEQTORでは入力値のチェックを行わない。

(2) 標準メッセージトレーラ

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
10	Checksum	String	◎	メッセージの先頭からチェックサムの直前までの各バイトを合計し、モジュロ256で設定する。設定値は10進数3桁。「000」～「255」。必ず最後に位置する。	

別紙2 管理メッセージフォーマット

(1) Logon

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「A」	
98	EncryptMethod	Int	◎	暗号化通信の手順を設定する。 0固定	
108	HeartBtInt	Int	◎	ハートビート監視使用時に設定する。 0の設定は不可。	
141	ResetSeqNumFlag	Boolean	□	シーケンス番号リセット時に設定する。 「Y」固定	
383	MaxMessageSize	Length	□	1メッセージの最大長を設定する。 「10023」固定	CONNECTORでは入力値のチェックを行わない。 上り電文の場合、設定なし
	Standard Trailer		◎		

(2) Logout

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「5」	
58	Text	String	□	Logoutの理由を先頭5バイトに設定する。 下り電文: 「00000」、または指定無し:本日の取引を終了したことを意味する。(取引終了) 上記以外: 障害等により取引の中断を意味し、 障害復旧時、取引再開可能とする。(取引中断) 上り電文: 解放要因となった理由コード(5バイト)	下り電文: (取引終了)が設定された場合、当日の取引は終了したとみなす。ただし、再度Logonすることにより取引可能となる。(FIXシーケンス番号はリセットされない為、再度Logonを行う場合、継続して使用する) (取引中断)が設定された場合、参加者システムで何らかの異常が発生したとみなし、再度Logonすることにより取引可能となる。(FIXシーケンス番号はリセットされない為、再度Logonを行う場合、継続して使用する) 上り電文: 設定値については、「付録2 理由コード一覧」参照。
	Standard Trailer		◎		

(3) HeartBeat

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「0」	
112	TestReqID	String	□	TestRequestの応答の場合は、受信したTestRequestのTestReqIDを	
	Standard Trailer		◎		

(4) Test Request

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「1」	
112	TestReqID	String	◎	上り電文: メッセージ送信時間を設定する。 YYYYMMDD-hh:mm:ss形式(コロン“:”とハイフン“-”は必須) 有効値:YYYY=0000~9999、MM=01~12、DD=01~31、hh=00~23、 mm=00~59、ss=00~59	
	Standard Trailer		◎		

(5) Resend Request

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「2」	
7	BeginSeqNo	SeqNum	◎	再送要求範囲の先頭を設定する。	
16	EndSeqNo	SeqNum	◎	再送要求範囲の最後を設定する。 上り電文: 常に“0”(送信済メッセージの最後まで)を設定する。	下り電文の場合は、必ずしも“0”である必要はない。
	Standard Trailer		◎		

(6) Reject

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「3」	
45	RefSeqNum	SeqNum	◎	Reject対象となったメッセージのMsgSeqNumを設定する。	
371	RefTagID	Int	□	Reject対象となったメッセージのTag番号を設定する。	
372	RefMsgType	String	□	Reject対象となったメッセージのMsgTypeを設定する。	
373	SessionRejectReason	Int	□	Reject理由を設定する。 上り電文では以下のいずれかのコードを設定する。 0:Invalid tag number(タグ番号不正) 1:Required tag missing(必須タグ無し) 2:Tag not defined for this message type(MsgTypeに関する未定義タグ) 3:Undefined Tag(未定義タグ) 4:Tag specified without a value(タグに値未設定) 5:Value is incorrect (out of range) for this tag(タグ設定値不正) 6:Incorrect data format for value(タグ設定値フォーマット不正) 9:CompID problem(企業ID不正) 10:SendingTime accuracy problem(SendingTime不正) 11:Invalid MsgType(メッセージタイプ不正)	
58	Text	String	□	理由コード(5バイト)及びエラー詳細情報(エラー要因となったタグ番号)を半角カンマ繋ぎで設定。ただし、理由コードのみの場合もある。エラー詳細情報有りの場合:「理由コード」、「エラー詳細情報」	「付録2 理由コード一覧」参照。
	Standard Trailer		◎		

(7) Sequence Reset

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「4」	
123	GapFillFlag	Boolean	□	「Y」: GapFillメッセージであることを示す。 上り電文: 注意) 要求されたメッセージを再送できない場合、「N」を設定する。	
36	NewSeqNo	SeqNum	◎	次に送信するメッセージのシーケンス番号を設定する。	
	Standard Trailer		◎		

別紙3 アプリケーションメッセージフォーマット

※必須欄の凡例は以下のとおりです。

◎:FIXメッセージとして必須、○:FIXとして必須でないがCONNQTORとして必須、□:条件により必須

(1) 注文入力電文(New Order Single)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「D」 SenderCompID=「TSECQT(固定値)」 TargetCompID=「参加者コード」 OnBehalfOfCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 OnBehalfOfSubID=「各組織の口座ID」	
11	ClOrdID	String	◎	注文番号を指定する。 注文番号:CONNQTORが各自の注文に割り振るFIXセッション単位に一意な番号を採番	
21	HandInst	char	◎	「1」:Automated execution order, private, no Broker intervention 固	
109	ClientID	String	○	相手方参加者コードを指定する。 5桁の数字。	
63	SettlmntTyp	char	□	決済期日を設定する。 タグを省略した場合は、T+2(3日目決済)として扱う。 「4:T+3決済」、「5:T+4決済」、「9:T+5決済」	
100	ExDestination	Exchange	○	取引所を指定する。 「T」:Tokyo Stock Exchange固定。	
55	Symbol	String	◎	銘柄コードを指定する。12桁。	「付録1 銘柄コード」参照。
54	Side	char	◎	注文の売買区分を指定する。 「1」:Buy(買注文) 「2」:Sell(売注文)	
60	TransactTime	UTC	◎	注文時刻を指定する。	
38	OrderQty	Qty	◎	注文数量を指定する。 1~999999999	
40	OrdType	char	◎	注文の執行種類を指定する。 「2」:Limit(指値)固定。	
44	Price	Price	○	注文値段を指定する。	
15	Currency	Currency	○	「JPY」:円固定。	
47	Rule80A	char	○	売買管理用項目(委託・自己の区分)を指定する。 「P」:Principal(自己) 「A」:Agency(委託)	
8045	現金・信用取引区分	char	○	現金・信用取引区分を指定する。 「0」:現金 「2」:信用新規 「4」:信用弁済	
8100	RFQID	int	○	注文番号のうち数字部分のみを指定する。	
8101	決済日(実日付)	String	○	決済期日の実日付を設定する。 「YYYYMMDD」 有効値範囲: *YYYY = 0000-9999, MM = 01-12, DD = 01-31	
	Standard Trailer		◎		

(2) 取消注文入力電文(Order Cancel Request)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「F」 SenderCompID=「TSECQT(固定値)」 TargetCompID=「参加者コード」 OnBehalfOfCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 OnBehalfOfSubID=「各組織の口座ID」	
41	OrigClOrdID	String	◎	被取消注文の注文番号を指定する。	注文番号はCONNQTORが各自の注文に割り振るFIXセッション単位に一意な番号を採番したものである。
11	ClOrdID	String	◎	取消注文の注文番号を指定する。	FIXセッション単位に一意な注文番号 TAG41:OrigClOrdIDと異なる値を指定する。
55	Symbol	String	◎	被取消注文の銘柄コードを指定する。12桁。	「付録1 銘柄コード」参照。
54	Side	char	◎	被取消注文の売買区分を指定する。 「1」:Buy(買注文) 「2」:Sell(売注文)	
60	TransactTime	UTC Time stamp	◎	取消注文時刻を指定する。	
38	OrderQty	Qty	◎	被取消注文の注文数量を指定する。	
8100	RFQID	int	○	取消注文の注文番号のうち数字部分のみを指定する。	
	Standard Trailer		◎		

(3) 注文受付通知(Execution Report)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「8」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT(固定値)」 DeliverToCompID=「CONNECTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	CONNECTORでは値をチェックしない。
11	ClOrdID	String	○	注文時に指定した注文番号を設定する。	
109	ClientID	String	○	相手方参加者コードを指定する。 5桁の数字。	
17	ExecID	String	◎	Execution Reportに関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)。	CONNECTORでは値をチェックしない。
20	ExecTransType	char	◎	「0」:New 固定	
150	ExecType	char	◎	通知の種別を設定する。 「0」:New(新規受け)	
39	OrdStatus	char	◎	注文の現在の状況を設定する。 「0」:New(新規受け)	
63	SettlmntTyp	char	□	注文時に指定した決済期日を設定する。	
55	Symbol	String	◎	注文時に指定した銘柄コードを設定する。	
54	Side	char	◎	注文時に指定した売買区分を設定する。	
38	OrderQty	Qty	○	注文時に指定した注文数量を設定する。	
44	Price	Price	○	注文時に指定した注文値段を設定する。	
47	Rule80A	char	○	注文時に指定した売買管理用項目(委託・自己の区分)を設定す	
32	LastShares	Qty	◎	約定数量を設定する。0固定。	
31	LastPx	Qty	◎	約定価格を設定する。0固定。	
151	LeavesQty	Qty	◎	注文残数量を設定する。0固定。	
14	CumQty	Qty	◎	内出来数量(現在までの総成立数量)を設定する。0固定。	
6	AvgPx	Price	◎	約定平均価格を設定する。0固定。	
8045	現金・信用取引区分	char	○	注文時に指定した現金・信用取引区分を設定する。	
	Standard Trailer		◎		

(4) 注文承認拒否通知及び注文エラー通知(Execution Report)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「8」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT(固定値)」 DeliverToCompID=「CONNECTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	
11	ClOrdID	String	○	注文時に指定した注文番号を設定する。	
109	ClientID	String	○	注文時に指定した相手方参加者コードを設定する。	
17	ExecID	String	◎	Execution Reportに関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)。	CONNECTORでは値をチェックしない。
20	ExecTransType	char	◎	「0」:New 固定	
150	ExecType	char	◎	通知の種別を設定する。 「8」:Rejected(拒否)	
39	OrdStatus	char	◎	注文の現在の状況を設定する。 「8」:Rejected(拒否)	
63	SettlmntTyp	char	□	注文時に指定した決済期日を設定する。	
55	Symbol	String	◎	注文時に指定した銘柄コードを設定する。	
54	Side	char	◎	注文時に指定した売買区分を設定する。	
38	OrderQty	Qty	○	注文時に指定した注文数量を設定する。	
44	Price	Price	○	注文時に指定した注文値段を設定する。	
47	Rule80A	char	○	注文時に指定した売買管理用項目(委託・自己の区分)を設定す	
32	LastShares	Qty	◎	約定数量を設定する。0固定。	
31	LastPx	Qty	◎	約定価格を設定する。0固定。	
151	LeavesQty	Qty	◎	注文残数量を設定する。0固定。	
14	CumQty	Qty	◎	内出来数量(現在までの総成立数量)を設定する。0固定。	
6	AvgPx	Price	◎	約定平均価格を設定する。0固定。	
8045	現金・信用取引区分	char	○	注文時に指定した現金・信用取引区分を設定する。	
	Standard Trailer		◎		

(5) 注文取消エラー通知(Order Cancel Reject)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「9」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT(固定値)」 DeliverToCompID=「CONNECTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	
11	ClOrdID	String	○	取消注文の注文番号を指定する。	
41	OrigClOrdID	String	◎	被取消注文の注文番号を指定する。	注文番号はCONNECTORが各自の注文に割り振るFIXセッション単位に一意な番号を採番したものである。
39	OrdStatus	char	◎	注文の現在の状況を設定する。 「8」:Rejected(拒否)固定。	CONNECTOR(現物)において、参加者毎の注文ステータスは管理しない為、一律にRejectedを返す。 実際の注文ステータスは参加者側で管理す
434	CxlRejResponseTo	char	◎	本メッセージに対応するリクエストメッセージ種別を設定する。 「1」:Order Cancel Request(取消注文)	
	Standard Trailer		◎		

(6) その他／データ種別エラー通知(Business Message Reject)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「j」 SenderCompID=「TSECQT(固定値)」 TargetCompID=「参加者コード」 OnBehalfOfCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 OnBehalfOfSubID=「各組織の口座ID」	
45	RefSeqNum	Seq Num	□	本メッセージに対応するリクエストメッセージのTAG34:MsgSeqNum値	設定が可能である場合のみ設定する。
372	RefMsgType	String	◎	本メッセージに対応するリクエストメッセージのTAG35:MsgType値を設定する。	
379	BusinessRejectRefID	String	○	本メッセージに対応するリクエストメッセージの一意となる識別子(TAG11に設定されているClOrdID値)を設定する。	
380	BusinessRejectReason	int	◎	エラー理由を設定する。上り電文では以下のいずれかのコードを設定する。 1: Unkown ID(ID不正) 4: Application not available(アプリケーション使用不可) 5: Conditionally Required Field Missing(条件付き必須タグ欠落) 0: Other(その他)	
58	Text	String	○	理由コード(5バイト)及びエラー詳細情報(エラー要因となったタグ番号)を半角カンマ繋ぎで設定。ただし、理由コードのみの場合もある。エラー詳細情報有りの場合:「理由コード」、「エラー詳細情報」	「付録2 理由コード一覧」参照。
8026	エラー時刻	String	□	エラー時刻を設定する。「HHMMSSSTT0」形式とし、下1桁は「0」固定とする。	必須タグが欠落している場合、このタグが設定されない場合がある。
8100	RFQID	int	□	本メッセージに対応するリクエストメッセージの一意となる識別子(TAG11に設定されているClOrdID値)のうち数字部分のみを指定する。	必須タグが欠落している場合、このタグが設定されない場合がある。また、ClOrdIDの内容に不正がある場合は設定値が空になる場合がある。
	Standard Trailer		◎		

(7) 注文約定通知(Execution Report)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「8」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT(固定値)」 DeliverToCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	CONNQTORでは値をチェックしない。
198	SecondaryOrdID	String	○	任意の値	CONNQTORでは値をチェックしない。
11	ClOrdID	String	○	CONNQTORが注文時に指定した注文番号を設定する。	
109	ClientID	String	○	相手方参加者コードを指定する。5桁の数字。	
17	ExecID	String	◎	Execution Reportに関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)。	
20	ExecTransType	char	◎	「0」:New 固定	
150	ExecType	char	◎	通知の種類を設定する。「2」:Filled(調達済(全出来))固定。	
39	OrdStatus	char	◎	注文の現在の状況を設定する。「2」:Filled(調達済(全出来))固定。	
63	SettlmntTyp	char	□	注文時に指定した決済期日を設定する。	
55	Symbol	String	◎	注文時に指定した銘柄コードを設定する。	
54	Side	char	◎	注文時に指定した売買区分を設定する。	
38	OrderQty	Qty	○	注文数量(注文入力時の数量)を設定する。内出来数量(CumQty)と注文残数量(LeavesQty)の合算値となる。	
47	Rule80A	char	○	注文時に指定した売買管理用項目(委託・自己の区分)を設定する。	
32	LastShares	Qty	◎	約定数量を設定する。	
31	LastPx	Price	◎	約定値段を設定する。	
151	LeavesQty	Qty	◎	注文残数量を設定する。0固定。	
14	CumQty	Qty	◎	内出来数量(当該通知の約定数量)を設定する。約定数量(LeavesQty)と同一値を設定。	
6	AvgPx	Price	◎	約定平均価格を設定する。0を設定。	
8026	約定時刻	String	○	ToSTNeTでの約定時刻を設定する。「HHMMSSSTT0」形式とし、下1桁は「0」固定とする。	
8045	現金・信用取引区分	char	○	注文時に指定した現金・信用取引区分を設定する。	
	Standard Trailer		◎		

(8) 注文取消結果通知 (Execution Report)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「8」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT (固定値)」 DeliverToCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	CONNQTORでは値をチェックしない。
11	ClOrdID	String	○	取消注文の注文番号を指定する。	
41	OrigClOrdID	String	○	被取消注文の注文番号を指定する。	注文番号はCONNQTORが各自の注文に割り振るFIXセッション単位に一意な番号を採番したものである。
109	ClientID	String	○	被取消注文時に指定した相手方参加者コードを設定する。	
17	ExecID	String	◎	Execution Reportに関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)。	CONNQTORでは値をチェックしない。
20	ExecTransType	char	◎	「0」:New 固定	
150	ExecType	char	◎	通知の種別を設定する。	「付録3 取消結果コード一覧」参照。
39	OrdStatus	char	◎	取消/変更処理の結果を設定する。	「付録3 取消結果コード一覧」参照。
63	SettlmntTyp	char	□	注文時に指定した決済期日を設定する。	
55	Symbol	String	◎	被取消注文時に指定した銘柄コードを設定する。	「付録1 銘柄コード」参照。
54	Side	char	◎	被取消注文時に指定した売買区分を設定する。	
38	OrderQty	Qty	○	被取消注文時に指定した注文数量(内出来数量を含む)を設定する。	
44	Price	Price	○	被取消注文時に指定した値段を設定する。	「1. ③各種取引における値段の設定/出力方法」参照。
47	Rule80A	char	○	被取消注文時に指定した売買管理用項目(委託・自己の区分)を設定する。	
32	LastShares	Qty	◎	約定数量を設定する。0固定。	
31	LastPx	Price	◎	約定値段を設定する。0固定。	
151	LeavesQty	Qty	◎	取消後の注文残数量を設定する。0を設定。	
14	CumQty	Qty	◎	内出来数量(現在までの総成立数量)を設定する。0を設定。	
6	AvgPx	Price	◎	約定平均価格を設定する。0を設定。	
58	Text	String	□	取消結果コードを設定する。	「付録3 取消結果コード一覧」参照。
8045	現金・信用取引区分	char	○	被取消注文時に指定した現金・信用取引区分を設定する。	
	Standard Trailer		◎		

(9) 注文失効通知 (Execution Report)

タグ	フィールド名	データ型	必須	説明	備考
	Standard Header		◎	MsgType=「8」 SenderCompID=任意の値 TargetCompID=「TSECQT (固定値)」 DeliverToCompID=「CONNQTORで扱う組織ID」 DeliverToSubID=「各組織の口座ID」	
37	OrderID	String	◎	注文に関して一意となる識別子(取引参加者システムで採番)を設定する。	CONNQTORでは値をチェックしない。
11	ClOrdID	String	○	注文時に指定した注文番号を設定する。	
109	ClientID	String	○	注文時に指定した相手方参加者コードを設定する。	
17	ExecID	String	◎	Execution Reportに関して一意となる識別子。	CONNQTORでは値をチェックしない。
20	ExecTransType	char	◎	「0」:New 固定	
150	ExecType	char	◎	通知の種別を設定する。 「C」:Expired(失効)	
39	OrdStatus	char	◎	注文の現在の状況を設定する。 「C」:Expired(失効)	
63	SettlmntTyp	char	□	注文時に指定した決済期日を設定する。	
55	Symbol	String	◎	注文時に指定した銘柄コードを設定する。	「付録1 銘柄コード」参照。
54	Side	char	◎	当該失効・無効通知の対象となる注文に指定した売買区分を設定する。	
38	OrderQty	Qty	○	失効した注文数量(内出来数量含む)を設定する。	
44	Price	Price	○	当該失効・無効通知の対象となる注文に指定した注文値段を設定する。	「1. ③各種取引における値段の設定/出力方法」参照。
47	Rule80A	char	○	注文時に指定した売買管理用項目(委託・自己の区分)を設定する。	
32	LastShares	Qty	◎	約定数量を設定する。0固定。	
31	LastPx	Price	◎	約定値段を設定する。0固定。	
151	LeavesQty	Qty	◎	注文残数量を設定する。0を設定。	
14	CumQty	Qty	◎	内出来数量(現在までの総成立数量)を設定する。0を設定。	
6	AvgPx	Price	◎	約定平均価格を設定する。0を設定。	
58	Text	char	□	失効理由コードを設定する。	「付録4 失効理由コード一覧」参照。
8045	現金・信用取引区分	char	○	注文時に指定した現金・信用取引区分を設定する。	
	Standard Trailer		◎		